

DX学校

ITに詳しくない中小企業・
経営者に寄り添う学校
「DX学校」のご紹介

2021年10月13日
株式会社ディグナ
代表取締役 梅崎 健理



梅崎 健理 (うめざき けんり)

DX学校 校長

株式会社ディグナ 代表取締役

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 研究員 (非常勤)

1993年 (平成5年)、鹿児島県に生まれ。愛称は「うめけん」。

4歳からPCに触れるなど「デジタルネイティブ」として注目される。2009年6月ごろからTwitterを開始。2010年12月1日、高校在学中にディグナを設立。同日に「~なう (SNSで今何をしているかを表す言葉)」で「新語・流行語大賞」トップ10受賞。

中小企業庁「中小企業デジタル化応援隊事業」説明会講師ほか、中小企業の経営者向けの経営課題を解決するIT活用セミナー等多数。

公益社団法人日本青年会議所「JCI JAPAN TOYP 2019」

(青年版国民栄誉賞) 選考委員

代表的な著書
メディア露出

自著 講談社+α新書「ツイッターとフェイスブックそしてホリエモンの時代は終わった」。
2018年1月・6月・17年9月・7月AbemaTV「AbemaPrime(報道番組)」スタジオゲスト出演。
2018年10月スポーツ報知 社会面30頁、全面掲載。
ほか、2015年10月20日日本テレビ「今夜くらべてみました」、
2015年9月20日TBS「サンデージャポン」ゲスト出演、
2015年4月2日NHK Eテレ「オトナヘノベル」SNSの解説者としてゲスト出演、
おはよう日本、クローズアップ現代など、新聞・雑誌での掲載、講演等多数。



今日のお話

1

「DX推進リーダー育成プログラム by DX学校」が始まります

- まずはIT導入が緊急に必要
- IT導入のネックは人材不足

2

中小企業にとってのDXとは？

- 「DX」とは「商売替え」

1

**「DX推進リーダー育成プログラム
by DX学校」が始まります**

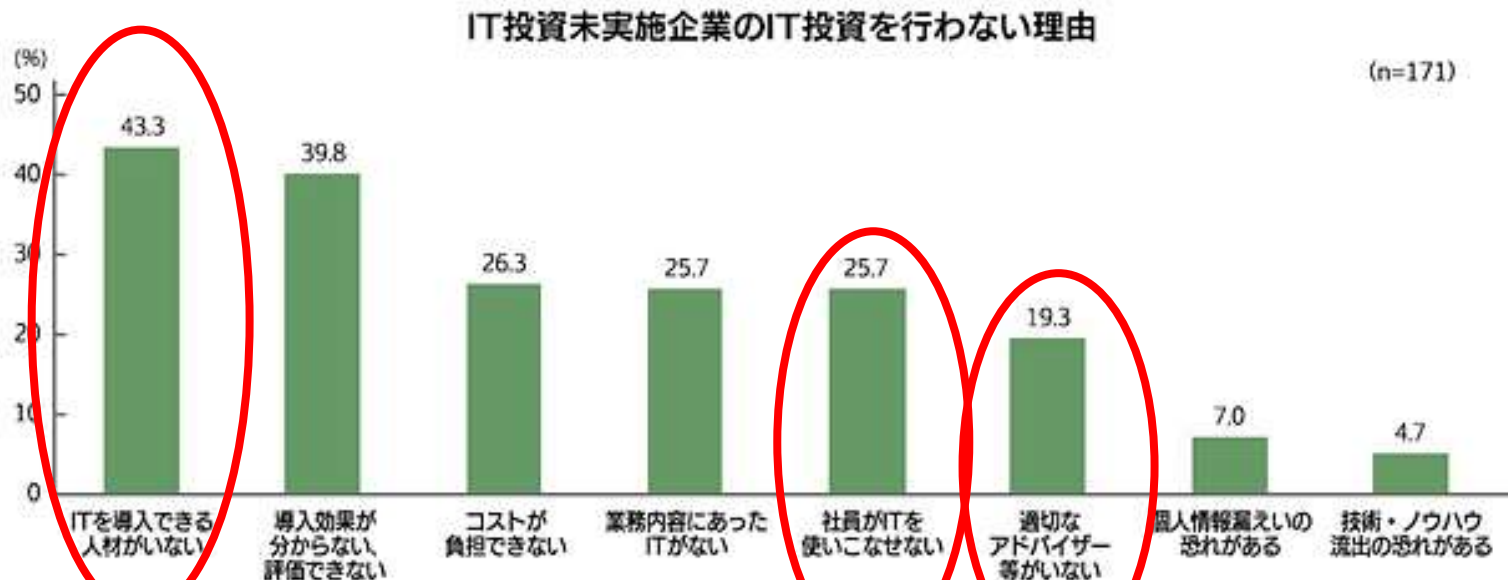
DX学校とは？



ITに詳しくない中小企業・経営者に寄り添う学校

社内DX推進リーダーを育成します

中小企業にIT導入が進まない大きな理由＝「人材がない」 → これを解決するのがDX学校



出典：中小企業白書(2016年版)「第2章：中小企業におけるITの利活用」

資料：中小企業庁委託「中小企業の成長と投資行動に関するアンケート調査」(2015年12月、(株)帝国データバンク)

(注)1.複数回答のため、合計は必ずしも100%にはならない。

2.IT投資を重要であると回答しているが現在IT投資を行っていない企業を集計している。

3.「その他」の項目は表示していない。

(中小企業白書より)

このような会社にオススメです

■ あなたの会社の「デジタル度」チェック

⇒2つ以上当てはまりますか？

- ✓ 社内に**Wi-Fi環境が整備**されていない。1人1台、業務端末がない
- ✓ **会社独自のメールアドレス**・ドメインを持っていない
- ✓ 社内で**クラウドサービス**を活用できていない
 - Google Workspace (G Suite) ・ Microsoft 365が未導入
- ✓ テレワーク・**在宅勤務** (幹部だけでも) の体制ができていない
- ✓ **DX** (デジタル・トランスフォーメーション) がわからない

IT導入のコストは下がっている

これまで

高価なパソコンを
買ってくる

20万円/台

パソコン・ショップで
ソフトウェアをCD-ROMで買う

数万円~/台

ソフトウェアは定期的に更新が
必要で、その都度、費用を支払う

数万円~/台

現在

パソコンが安くなった
いまはノートブックが主流

3万円~/台

ソフトウェアは
クラウド・サービスを利用

月額数百円~/名

クラウド・サービスは
自動で更新され、追加料金無料

0円

ITの基礎知識（経営に必要なポイント）と、デジタルの感覚を身につけることで、

これからは、自社で、IT投資の判断（ツール・業者選定等）と

デジタル化の推進ができるようになります。

【DX学校 講座3つのポイント】

1

【独自教材】 最先端のことを、誰でも分かりやすく学べる

ビジネスに必要なデジタルの知識と実践が、
誰にでも簡単に学べます。

しかし、ITのトレンドの移り変わりは早く、
古くて間違っただけを教えてしまっている
ヒトがいるのも事実です。

私たちは、最先端で世界標準のことを、
誰にでも分かりやすいオリジナルのテキストと
カリキュラムで自信を持って提供します。



【 DX学校 講座 3つのポイント 】

2

【コスト・メリット】

経営課題の解決に導く、投資以上の効果。

IT「ツール」は単に「道具」にしか過ぎません。

まず着手すべきは業務効率化する

IT導入ですが、単に人件費の削減を

目的としたIT導入もうまくいきません。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、

ITの時代に御社の事業を適応・転換することです。

そのために私たちは、事業の成長を「並走」します。



【 DX学校 講座 3つのポイント 】

3

【 自走と並走 】

魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えます

『授人以魚 不如授人以漁』という言葉。

DX学校の受講者がこれから「自走して」
社内のIT担当者になれるように。

DX学校の講師は「並走」して事業の成長に
コミットメントできるように。

私たちが1番大切にしている考え方で、

「自走」できるようになることをお約束します。

“ 授人以魚 不如授人以漁 ”

お腹を空かせた人がいるときに、
魚を与えるか、
魚の釣り方を教えるか。

その人に魚を与えれば
1日で食べてしまうが、
釣り方を教えれば
一生食べていける。

という意味です。

DX学校 3ヶ月のカリキュラム

DX学校では「ITやパソコンのことがよく分からない苦手だ」というスタート地点から「デジタルを利活用していくための知識と実践力を身に付ける」というゴールまで仲間と一緒に学んでいきます。

実践型 授業
(講師)
1回 約90分

ウェブ会議システム

+

教養 授業
(動画)
1回 約60分

オンライン学習システム

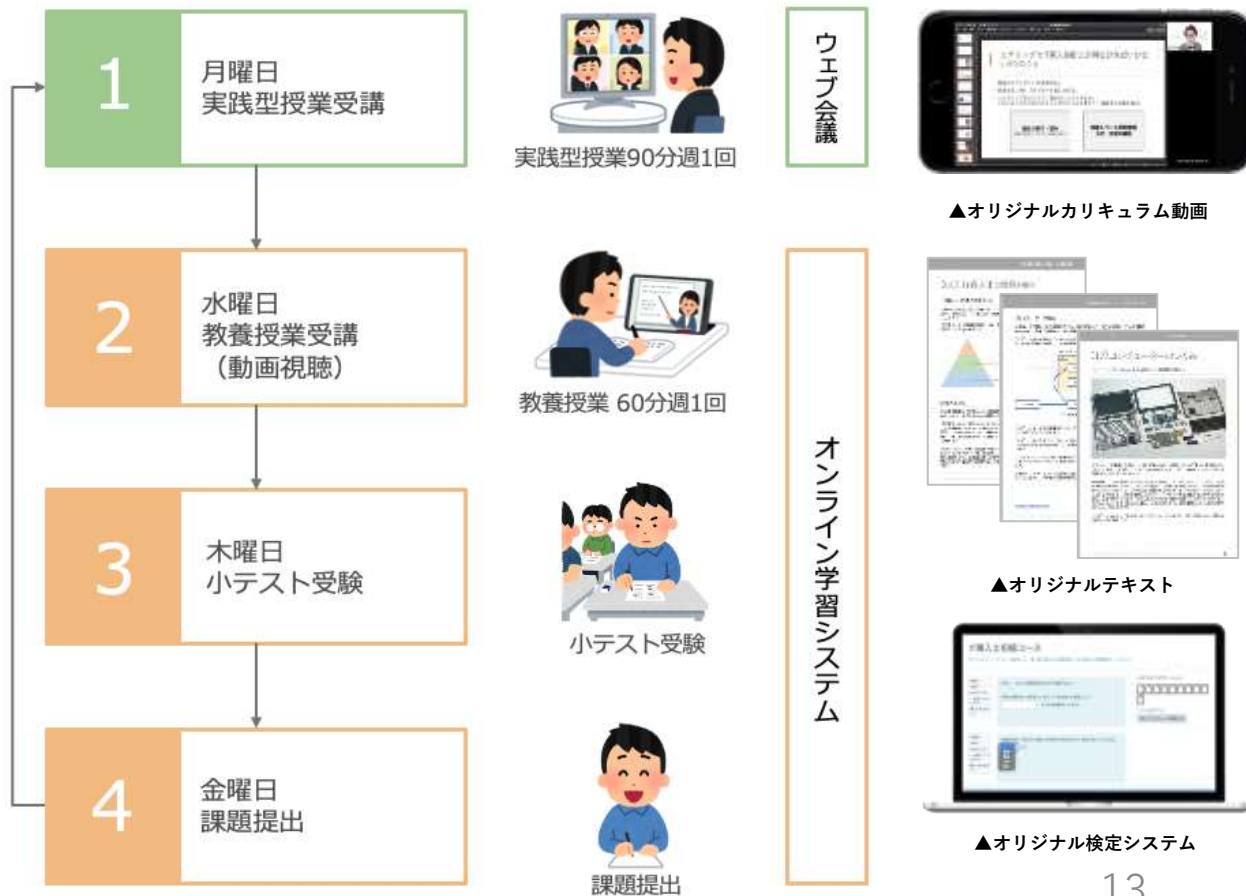
1週間1セット

× 12週間
(3ヶ月)

課題とフィードバックがあるので学んだことを確実に自分の力にできます。学んだことを学びっぱなしにするのではなく、手を動かすことで実務に応用できる力を養います。

これからの時代の変化に適用するために、中小企業にとってのデジタルとの対峙と、経営課題を解決する考え方を学びます。ビジネス上では当たり前になっているIT用語なども丁寧に学んでいきます。

1週間の流れ



カリキュラム詳細

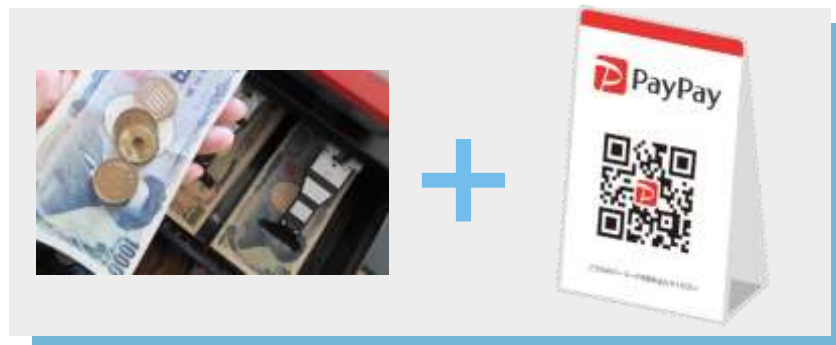
▼全22章オリジナルテキスト（約200ページ）内容

- [01] IT導入士の業務内容
- [02] ITを導入するメリット
- [03] これからの時代の変化に適合していく
- [04] 事例研究
- [05] 独自ドメイン取得・メールを送受信する
- [06] カレンダーを共有する
- [07] ビジネス・チャットをできるようにする
- [08] ウェブ会議をできるようにする
- [09] フォームで電話連絡帳を作ってみよう
- [10] ファイルを共有する
- [11] 議事録をリアルタイムで作ってみる
- [12] Google Workspace以外の選択肢
- [13] これから導入するならSaaS
- [14] ソフトウェアの種類
- [15] 自社の課題と目標を明確にする
- [16] ワークフローを書いてみる
- [17] 導入計画を立案する
- [18] プレゼンテーションの準備をする
- [19] プレゼンテーションの行い方
- [20] コンピューターのしくみと歴史
- [21] インターネットのしくみと歴史
- [22] IT導入を実行していく

2

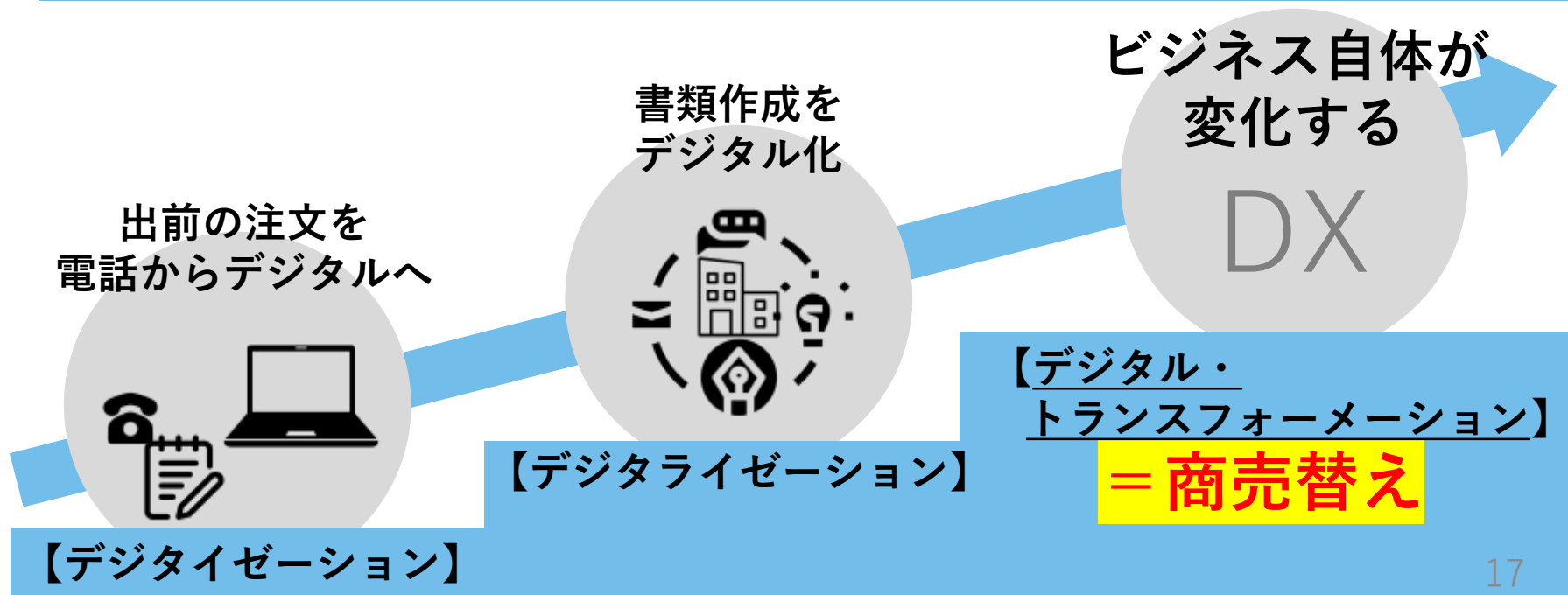
中小企業にとってのDXとは？

中小企業のDXって、こんなイメージ？



「デジタル・トランスフォーメーション」とは

DXとは、ITを使って変化を起こし、売上や利益を伸ばすしくみを作ること



人材育成の第一歩が「DX推進リーダー育成プログラム（DX学校初級講座）」

デジタル・シフト第1波

主力製品やサービスが
デジタル化されやすい
業界

- メディア
紙の新聞がオンラインの
ニュースへ
- エンタテインメント
CDやDVDが
ストーリーミングへ
- 金融サービス
フィンテック
- 通信
郵便が電子メールへ
など

デジタル・シフト第2波

プロセス、
バリューチェーンが
デジタル化される

- 受注、発注などのプロセスに
デジタル化が取引先や
行政機関から要求される
- 社内の手続きや人事管理
（ヒト）、在庫管理（モノ）、
財務経理（カネ）の
管理コストが従来通りでは
立ちゆかなくなる

⇒いまここ
ここまでが現在の
DX学校の授業内容

デジタル・シフト第3波

ビジネス・モデルが
デジタル化される

- 扱い製品・サービスが
なくなったり、新しいものに
取って代わられたりする
- これまで守ってきた「商圏」
という概念が変わってしまう
- 「中抜き」。卸売業などの
「ミドルマン」が排除される
- 言語の壁もなくなる

⇒英語では「波」というより
「Vortex」（渦）という
表現が多い

▼お申込は「北海道IT推進協会」のウェブサイトから

hicta.or.jp

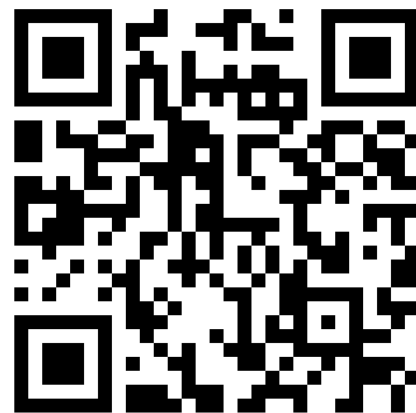
【受講料】

45,700円税別（教材費等全て含む）

【募集社数】

先着20社

中小企業を優先、埋まり次第終了



札幌市内の中小企業にデジタル人材を養成

DX推進リーダー育成 プログラム by DX学校

ITに詳しくない中小企業に寄り添います



一般社団法人
北海道IT推進協会

DX学校

3ヶ月で20年のデジタル知識の遅れを取り戻す。
社内にITの基礎・基本がわかる人材を育てるプログラム。

まったくデジタルの導入がされていない企業が
Google Workspaceのメールやチャットやウェブ会議
などの機能を利用して、テレワークを可能にする
過程を学びます。

この中で、自社に適合したIT技術の選び方や
社内の普及のさせ方も合わせて学びます。

今日のお話

1

「DX推進リーダー育成プログラム by DX学校」が始まります

- まずはIT導入が緊急に必要
- IT導入のネックは人材不足

2

中小企業にとってのDXとは？

- 「DX」とは「商売替え」

・ ・ ありがとうございます ・ ・

お問合せは

DX学校 本部 事務局

0120-659-189 dx@dig-na.com



質疑応答